

# 守ろう、著作権！

## 新聞記事・写真の二次利用について Q&A

記事や写真は新聞社の大切な財産です。著作権侵害で問題になるケースが増えていますので、安心かつ安全に活用してもらえよう適正な利用方法を案内して下さい。



**Q** 記事を資料として使いたいと相談された。どうしたらいい？

**A**

記事や写真を二次利用する場合、申請手続きが必要です。読者広報部を案内するか、中国新聞デジタル「記事や写真の利用について」のページから申請手続きをお願いしてください。



**Q** 記事をSNSに投稿してもいいか尋ねられた。問題ない？

**A**

拡散が目的であるSNSへの投稿は、限りなく無断利用が広がる懸念から、社として認めていません。ただし、HPやブログへの転載はできますので、申請手続きをお願いしてください。



**Q** 記事コピーを送って欲しいと言われた。送っていいの？

**A**

なるべく新聞原紙を送ってください。原紙利用に関しては著作権上の問題はありません。記事(著作物)をコピーしたりスクリーンショットをする場合、著作権者の事前の許諾が必要とされています。



中国新聞デジタル 記事や写真の利用について >>>



例外対応について...ウラへつづく



取材させてもらったのに...お世話になったのに...



『取材をして記事にする』ことと、『相手が新聞記事を二次利用する』ことは切り離して考えましょう。  
ただ、相手との関係性を考慮すべき場合もあります。  
無償で提供するケースもありますので、まずは読者広報部へ連絡・相談してください。

### 写真を贈る場合...

個人記念販売の対象はプリントで、データの販売はしていません。プリント写真に映像部で刻印を押すか、読者広報部で裏面にシールを貼って下さい。

### 記事コピーを渡す場合...

個人記念販売でも、二次利用でも、出典を明記し、禁止文言を添えています。二次利用、三次利用と無断利用が広がらないよう対策が必要です。

この写真の著作権は中国新聞社にあります。無断で他の出版物等に転載したり、転売することなどはできません。また、インターネットに掲載したり、デジタルデータに変換することも禁じます。

年 月 日  
 **中国新聞社**  
読者広報部 082 (236) 2455

出典(クレジット)例  
中国新聞 ○年○月○日掲載

禁止文言例  
© 中国新聞社「無断コピー・転載禁止」

取材相手や取引先から相談を受けた時は、受付担当窓口の読者広報部を案内してください。担当スタッフが丁寧に対応します！

読者広報部 082 (236) 2455 平日10~17時